

この夏、私は富士吉田市の姉妹都市派遣事業の一環として、コロラドでのホームステイに参加する機会をいただきました。自分ひとりではなかなか経験できない貴重な機会を提供してくださった関係者の皆様に、心から感謝しています。出発前は期待と少しの不安を胸に抱えていましたが、実際に現地で過ごした日々はどれも新鮮で、忘れられない思い出となりました。

まず印象に残っているのは、ホテルでの出来事です。一緒に滞在していた友達がお水を買ったとき、フロントのスタッフがオープンから焼きたてのクッキーを取り出して渡してくれました。その場にいた私にも笑顔でクッキーを差し出してきて、思いがけず焼きたてのクッキーを味わうことができました。あたたかくて甘い味はもちろんですが、忙しい中でも心を配ってくれたスタッフの気持ちがとても嬉しく、アメリカのおもてなしの一端を感じることができました。

ホームステイ先での生活も驚きの連続でした。特に 16 歳の女の子が車を運転していたことには大きな衝撃を受けました。日本では高校生が免許を取り車を運転することは考えられないので、文化や法律の違いを肌で実感しました。また、ステイ先の家はとても大きく、庭も広く、まるで映画の中にいるようでした。日本の住宅事情と比べると、暮らし方そのものがスケールの大きいものであることを知りました。

さらに、アメリカの道路や車の運転にも違いがありました。運転席が日本とは逆にあり、車線の流れも反対でした。初めは混乱しましたが、次第に「自分の常識は世界の常識ではない」ということを実感し、視野を広げるきっかけとなりました。

観光でも印象的な体験をしました。コロラドの名所である「ガーデン・オブ・ザ・ゴッズ」を訪れたとき、その雄大な景色に圧倒されました。赤く大きな岩がそびえ立ち、その姿は日本では見たことのないものでした。そして、自然が作り出す迫力に驚きました。

今回のホームステイを通して、文化や習慣の違いを知るだけでなく、人の温かさや自然の偉大さに触れることができました。そして、自分がまだ知らない世界がたくさんあることに気づきました。この経験を通じて、将来はもっと英語を学び、さまざまな国の人と交流したいという思いが強くなりました。支えてくれたホストファミリーや家族はもちろん、このような機会を与えてくださった富士吉田市の姉妹都市派遣事業の関係者の皆様に心から感謝しています。今回の学びをこれからの自分の成長の糧にして、新しい事に挑戦していきたいと思います。